

令和3年第6回定例会一般質問通告事項

	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
12月	<p>1 核兵器廃絶にむけて、平谷市長のリーダーシップ発揮を求める</p> <p>(1) バイデン大統領が核兵器先制不使用宣言を検討していることを知っているか</p> <p>(2) その宣言に日本政府が水面下で反対をしていることを知っているか。そのことをどう思うか</p> <p>(3) 市長は岸田首相に宣言を受け入れ、核保有国に不使用宣言をするよう求めるべきではないか</p> <p>(4) 3月に開かれる核禁条約締約国会議に日本政府がオブザーバー参加をするように、湯崎県知事などへの働きかけを行い、岸田首相に求めるべきではないか</p>	
	<p>2 しまなみ海道通行料金の市内通行分の生活割引をつくることについて</p> <p>(1) しまなみ海道の生活割引を導入するよう国に強く働きかけるべきではないか</p>	
10日	<p>3 子育て支援、少子化対策、教育条件改善について</p> <p>(1) 国民健康保険料の子どもの人数による保険料加算の免除について</p> <p>ア 均等割り軽減の制度改正が検討されているとの情報を得たが、市には説明があったか。その内容はどうだったか</p> <p>イ 先進事例を参考に、国の構想している施策に上乘せ、横出しをして、実施対象の拡大、支援額の拡大を実施することを検討すべきではないか</p> <p>(2) 子ども医療費助成の拡充について</p> <p>ア 一部負担金をなくし、高校生までの医療費無料化を実施すべきではないか</p> <p>(3) 35人学級の早期実施について</p> <p>ア 国の施策では新年度は今年度と比較して、どこがどう前進するか。この調子で行くと、すべての小学校で35人学級ができるのは令和何年度になるか。中学校では令和何年度になるか。あまりに長期間かかりすぎると思わないか</p> <p>イ 広島県に制度改善を求めるとともに、尾道市が率先して制度改善に取り組むべきではないか</p>	

